

第82回野球大会 日本電設工業 初優勝！ 決勝戦



4年ぶり3回目の優勝を狙う扶桑電機株式会社と、4度目の決勝進出で悲願の初優勝を狙う日本電設工業株式会社との対戦が、二度の順延を経て8月31日(日)に行われました。4年前の決勝戦の再現となり、リベンジか返り討ちかが注目されましたが、日本電設工業株式会社が2-1のサヨナラ勝ちで悲願の初優勝を飾りました。

野球部代表世話人 栗崎 拓也(栗原工業株式会社)

野球を愛する

～決勝戦を振り返って～

世話人の座談会

世話人A(以下A) いや～、2回の順延で4ヶ月もかかったけど、今年も無事大会が終わったね!(ホッ)

世話人B(以下B) 両チームとも万全のコンディションで試合前から気合い入っていたよね。

世話人D(以下D) 日曜日ということもあり子供連れも多く、応援の方もベンチに座りきれないくらいの盛り上がりだったもん!

世話人C(以下C) 試合は決勝戦らしく引き締まったいい試合だったよね!

世話人E(以下E) 初回、日本電設工業が先制した時には、一方的な試合になるかと思ったけどな。

C その後はランナーを許しても両投手とも速球と変化球を織り交ぜ要所を締め、完投したのは圧巻だったね!

B そういえば、スプリット(フォーク?)も投げてたよね!

A 1-0のまま終わると思ったけど8回のワンチャンスをものにして追いついた扶桑電機は流石だね。

E 9回裏の二死満塁から一塁ゴロを打った瞬間は延長戦に入ると思ったけどな。

D あのイレギュラーは日本電設工業の執念だよな。

B いやいや井上会長の執念でしょ(笑)

事務局 両チームとも素晴らしい決勝戦でした!

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
扶桑電機(株)	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
日本電設工業(株)	1	0	0	0	0	0	0	0	1	×2

優勝	日本電設工業株式会社
準優勝	扶桑電機株式会社
3位	株式会社関電工、日本リーテック株式会社

最優秀選手賞	佐々木 貴広 (日本電設工業(株))
敢闘賞	山中 辰洋 (扶桑電機(株))


大会結果

**第82回
野球大会結果は
協会ホームページ内にて
公開中です**




<http://www.todenkyo.or.jp/activity>

優勝インタビュー




優勝監督



吉際 大輔 監督

「(4度目の決勝戦でようやく勝利して) ほっとしました。ピッチャーの常見とキャッチャーの佐々木キャプテンを中心に守備からリズムをつくり、最後はチャンスをものにできて、本当にナイスゲームでした。大会の1か月前から練習をやる程度の急造チームなのですが、集中力を切らさずよくやってくれたと思います。準決勝の関電工さんと今日の扶桑電機さんはとてもいいチームで、勝てたのが不思議なくらいです。来年も優勝しておいしいお酒が飲めるように頑張ります」

最優秀選手賞



佐々木 貴広 選手

「(2安打を放つなど攻守に活躍して) 今日は自分の打った打たないよりも、ピッチャーの常見さんを中心に守りでリズムをつくれたのが一番の勝因だと思っています。キャッチャーとしては常見さんを信じて心中するつもりでやっていました。準決勝は逆転逆転で勝って、今日も追いつかれて最後にサヨナラ勝ちと、ねばりの野球ができたのがいい結果につながりました。来年もやれることをひとつひとつやっていって、V2を目指したいと思います」